地域DX共創事業 【DX LAB KTQ】

-ともに進める地域DXプログラム-

HAGUKUMI

参加団体募集説明会

全体構成

1. 事業背景の説明

2. 地域DX共創事業の説明

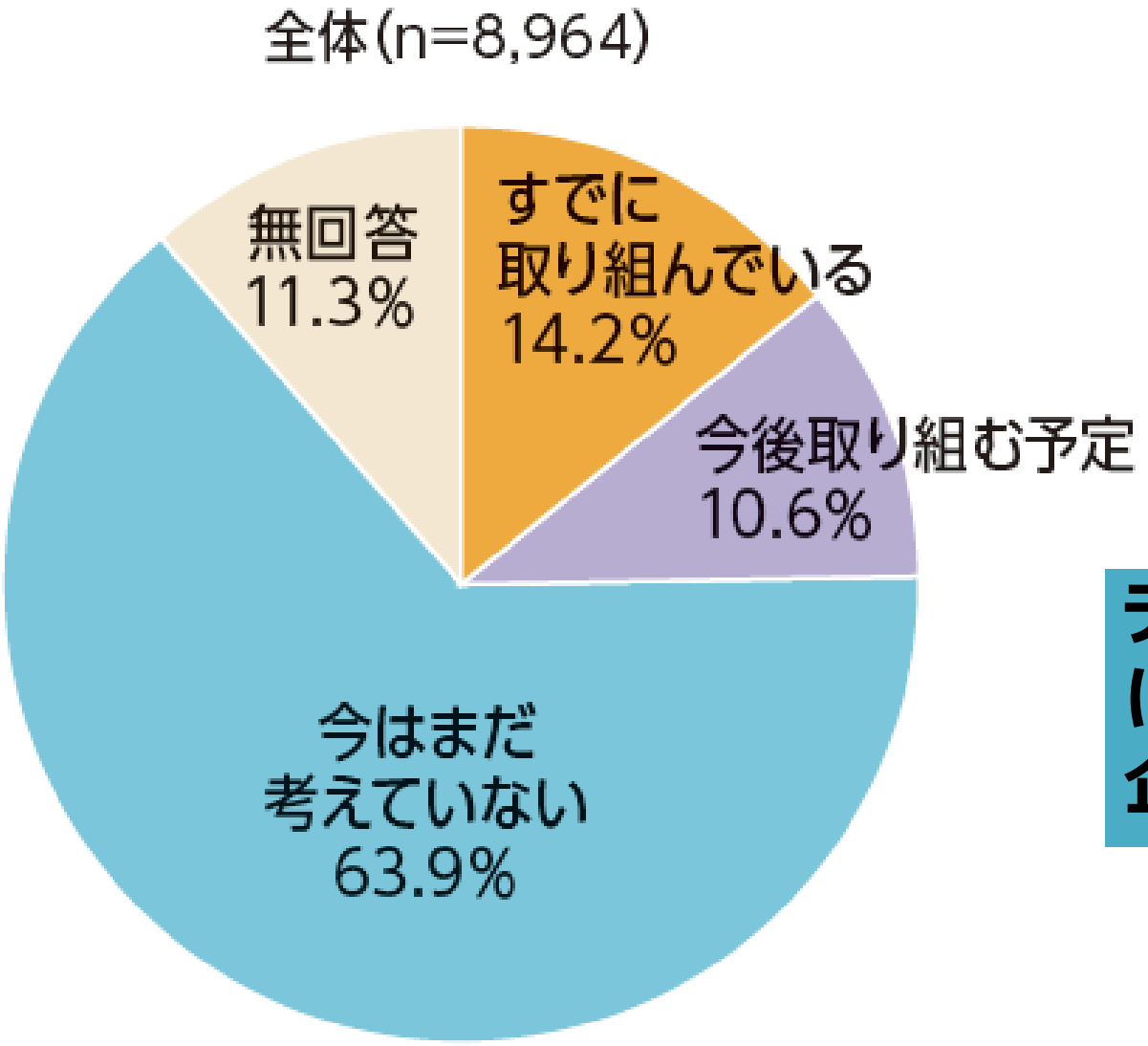
3. HAGUKUMIプログラムの説明

4. 質疑応答

DX LAB KTQ

北九州市内のデジタル化・DX取組状況

北九州市内中小企業のデジタル化／DX取組状況



**デジタル化／DX
に取り組めている
企業はごく僅か**

北九州市中小企業振興課「令和4年度北九州市中小企業実態調査」
https://www.city.kitakyushu.lg.jp/san-kei/10700359.html

DX LAB KTQ

DXの段階に応じた網羅的な支援施策

事業変革

北九州 DX大賞 KitaQ DX

推薦

経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry
DX Selection

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU

公益財団法人 北九州産業学術推進機構 FAIS Kitakyushu Foundation for the Advancement of Industry, Science and Technology

運営

実践

デジタル相談窓口

- 支援の実施
- 支援計画の策定・専門家の選定
- コーディネータとの面談で支援の方向性を打ち合わせ
- 電話・Webフォームからご相談

DX推進補助金

計画策定枠	事業変革枠
デジタル技術の活用による成長に向けた中期経営計画等の事業計画策定を補助（最大200万円）	デジタル技術を活用して事業変革を目指す取り組みを補助（最大500万円）

ロボット導入補助金

FS枠	導入枠
産業用ロボット等導入の事前検証やFSに要する費用の一部を補助（最大200万円）	生産性向上を目的に、産業用ロボット等の導入・更新に要する経費の一部を補助（最大500万円）

準備

人材育成・活用支援

社内人材育成	【経営層向け】第4次産業革命への対応力を経営トップ自らが検討できるビジネススクール	【現場向け】取り組みやすいテーマでデジタル、IoTを学ぶ講座
社外人材活用	【首都圏人材活用】北九州に貢献したい首都圏の人材と市内企業をつなぐ	【地元大学活用】企業のデジタル化の課題をITに強い地元大学生が解決

北九州市ロボット・DX推進センター

DX Propulsion Platform in Kitakyushu
北九州市DX推進プラットフォーム

DX Acceleration Local Lab 北九州市DX推進ラボ

北九州 Sierネットワーク

機運醸成

セミナー・事例視察会等の開催

課題解決Expo 2024 西日本DX推進フェア2024 West Japan Digital Transformation Promotion Fair 2024

市内先進事例の視察ツアー

センターの活用

※生産進捗見える化システムの展示

出前講義の実施

※実施風景

デジタル相談窓口

Consultation

—無料相談、現場訪問、伴走支援—

対象
北九州地域の
中小企業

相談
無料

Kitakyushu
Robot & DX Promotion Center

市内中小企業のDX推進やロボット導入等について、相談から専門家派遣まで切れ目なくサポート（無料）

相談受付
専用電話や
Webサイトで
相談を受付

面談
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰと
支援の方向性を
打ち合わせ

支援計画
支援計画を策定し
現場に派遣する
専門家を選定

専門家派遣
専門家が現場を
訪問し伴走支援を
実施

＜前身開設～R6年度累計＞
相談件数458件、専門家派遣回数1,751回

専用電話

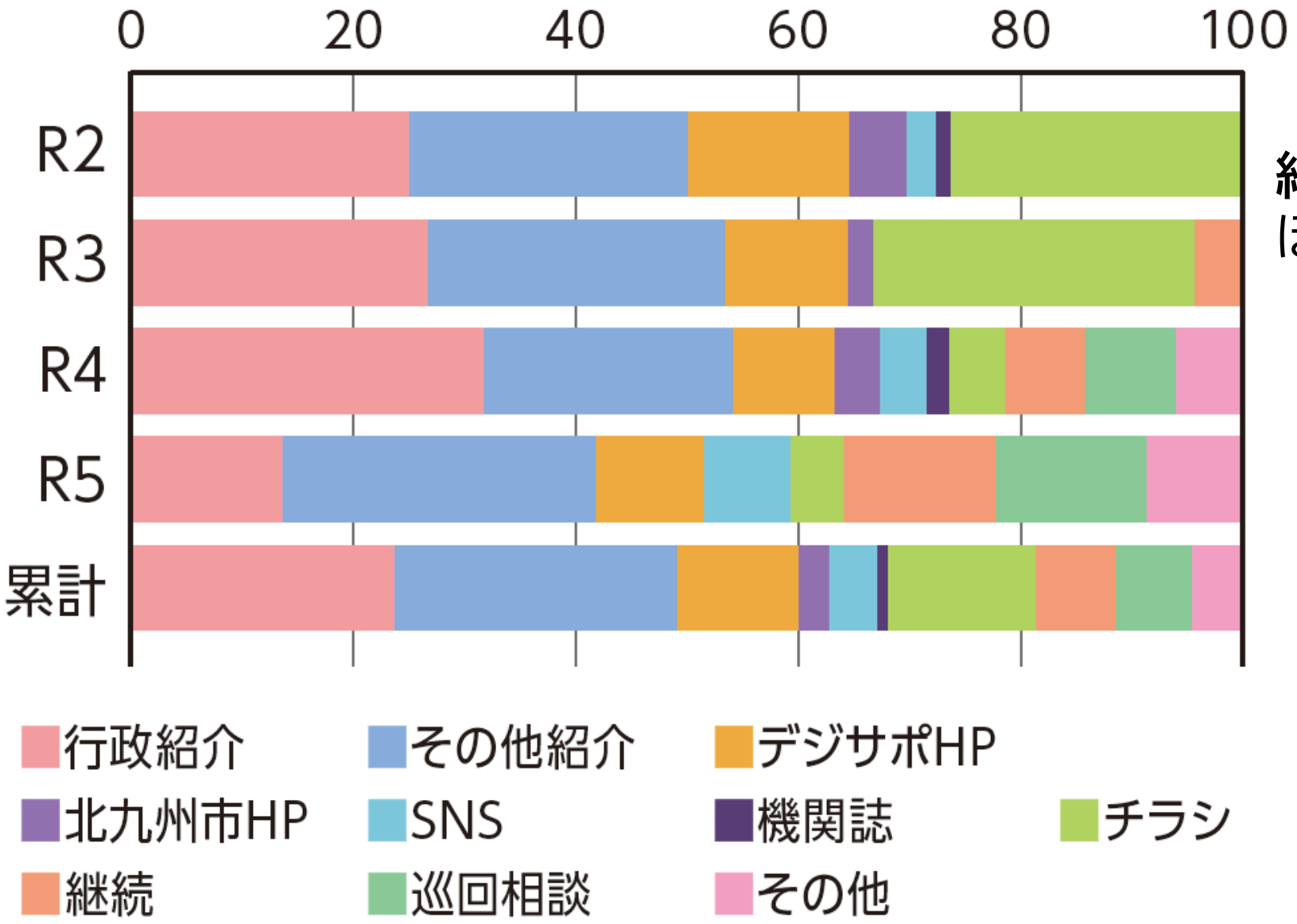
093-695-3090

専用Webサイト

https://ktq-robodx.jp/

デジタル相談窓口
専用Webサイト

デジタル相談窓口相談きっかけ



紹介(行政/知り合い企業等)が
ほぼ半数を占める

↓

企業同士の横のつながりが
デジタル化・DXに取り組む
きっかけとして大きい

DX LAB KTQ

個社支援だけではなく、
面的なつながりを

1対多ではなく多対多で

地域DX共創事業「DX LAB KTQ」について

DX LAB KTQ

実施内容

共創主体者の発掘・メンバーとの出会い

→

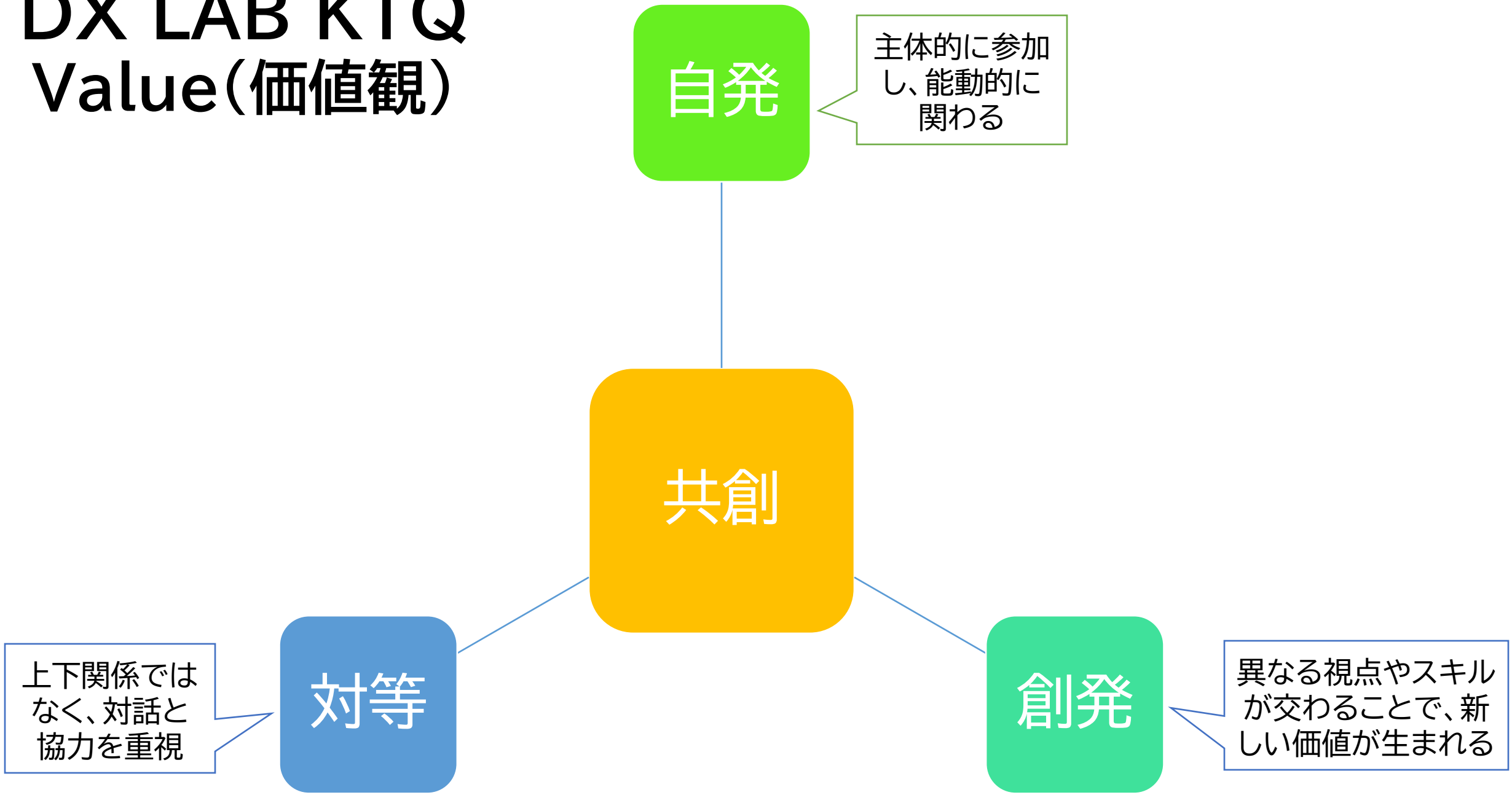
共創活動の促進

→

共創事例の周知

DX LAB KTQ

DX LAB KTQ
Value（価値観）



2024年度 overview

DX LAB KTQ

DX LAB KTQ

【6月～7月】
北九州
DXツアー

【7月25日】
デジタル化・
DXに向けた
課題整理WS

【8月】
地域DX共創
活動助成金
公募・採択

【9月～翌3月】
共創活動の
促進（テーマに基づく課題の深掘り・解決策の考案）

解決策の
共同構築・
検証

共創主体
団体への
資金支援

共創活動
サポート
（IT企業マッチング等）

地域DX
展開支援
（FAIS「北九州モデル共同研究開発プロジェクト」化）

DXを知る → 課題の整理 → 共創テーマの募集 → グループ活動 → 活動発表 → 発展

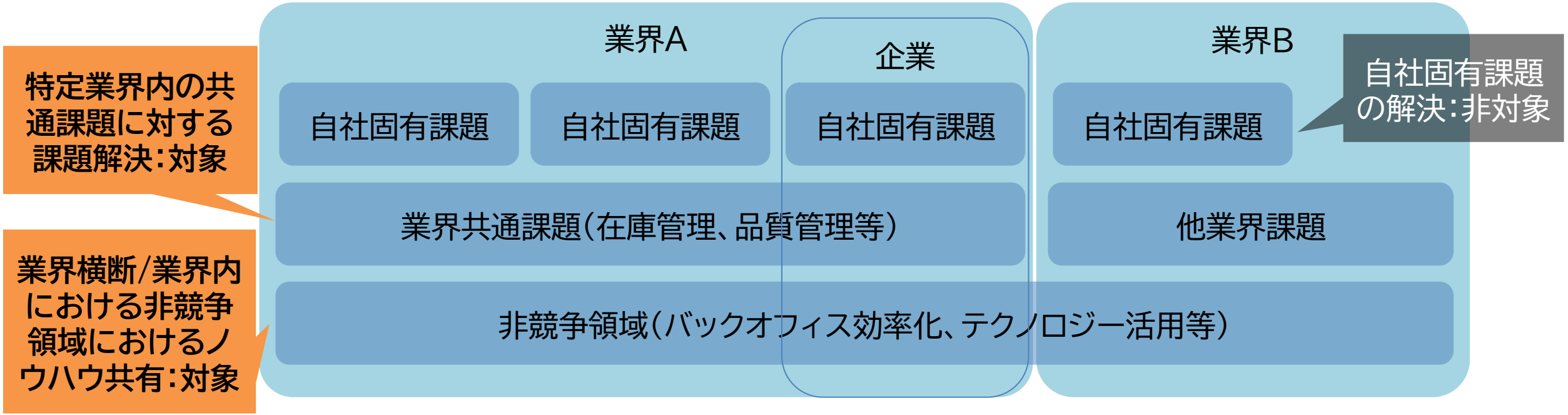
DX LAB KTQ

デジタル化・DXに向けた課題整理ワークショップ概況

【イベント概要】
- 日時：7月25日(木)14:00-17:30
- 場所：株式会社YEデジタル社内コワーキングスペース「SAKASSO!」
- 参加者：28名（運営含む）
- 参加対象者
  - デジタル化・DXに向けて自社の課題を整理したい方
  - 他社との共創でDXを進めたい方

【イベント内容】
- 株式会社kubell様インプットセミナー
- 事務局による視察ツアー振り返り
- 自社課題整理ワークショップ①：個別ワーク ～課題の抽出方法・優先順位づけ・課題の構造～
- 自社課題整理ワークショップ②：グループワーク ～課題に対する意見交換会～
- 交流会

地域DX共創活動助成金概要



助成種別	対象活動	助成額	助成率
DX共創準備枠	特定の共創テーマのもとに、 これから共創相手（構成員）を見つけ、活動を拡げていく活動	20万円	1/1
DX共創実践枠	特定の共創テーマのもとに、構成員同士の間で共創を実践していく活動	30万円	

公募期間：8/1-8/22 → 5団体を採択 → DX LAB KTQ

地域DX共創活動助成金R6年度採択団体

#	団体名称	代表構成員	活動テーマ	枠
1	西日本医療デジタル研究会	㈱佐々木総研	クリニックや診療所の医療DX・デジタル化に関する研究	準備枠
2	ケア共創ネットワーク	(同)共創テクノロジー	自助具のデジタル化とオープンプラットフォームによるノウハウ共有を目指した3Dプリンタ導入トライアルと評価検証プロジェクト：企業連携による自助具デジタル化促進研究会の発足	実践枠
3	早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム	早稲田大学	官民一体となった強い組織づくりとDX推進のためのワークショップ	実践枠
4	製造業IoT活用研究会	イジゲングループ㈱	製造業IoTの導入及び実証実験	実践枠
5	北九州IoT実践研究会	㈱戸畑ターレット工作所	サイバー攻撃から身を守るサイバーセキュリティーBCP研修	実践枠

各団体紹介記事：https://ktq-dx-platform.my.site.com/DXmain/s/meetup/dx-lab-ktq

DX共創セミナー

DX LAB KTQ

地域DX共創活動事例紹介

DX共創セミナー
地域で育む共創の現在と未来

参加無料
@ COMPASS小倉
12.19 木
15:00～17:15
（終了後 交流会）
定員50名

トークテーマ

共創で育む地域企業の未来

北九州市内では既にデジタル化・DXに向けた共創活動として、中小企業間のノウハウの共有や、産学官連携によるDXに取り組む企業研究等が進められています。
本セミナーでは、実際に活動している団体の紹介だけでなく、活動に参加している中小企業が共創活動をどの様に自社のデジタル化・DXへ活用しているかお話しいただきます。デジタル化・DXに取り組むヒントを掴みたい方の参加をお待ちします。

トーク登壇者

トークテーマ
『共創で育む地域企業の未来』

<セッション① 北九州IoT実践研究会>

中野 貴敏 氏
㈱戸畑ターレット工作所
DX推進課 課長

梶原 潤 氏
シャボン玉石けん㈱
製造部 製造2課 係長

藤田 剛克 氏
吉川工業ファインテック㈱
プレス製造部 主任技師

<セッション② 早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム>

吉江 修 氏
早稲田大学
教授

田中 裕弓 氏
㈱リョーワ
代表取締役

籠田 淳子 氏
(有)ゼムケンサービス
代表取締役

プログラム

- 15:00 オープニング・DX LAB KTQ紹介
- 15:10 共創座談会
  - セッション① 北九州IoT実践研究会
  - セッション② 早稲田大学IPS・北九州コンソーシアム
- 16:20 DX共創団体活動シェア
  - ケア共創ネットワーク
  - 製造業IoT活用研究会
  - 西日本医業デジタル研究会　ほか
- 16:50 クロージング
- 17:15 交流会（会場内で実施します）

共創活動団体

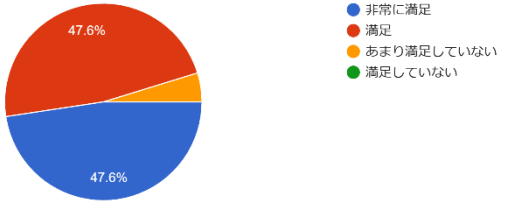
共創テクノロジー　IJGN GROUP　SASAKI SOKEN GROUP　IPSKC

「地域DX共創活動助成金」採択団体のほか、地域内でデジタル化・DXに向けた共創活動を行う方々をご紹介

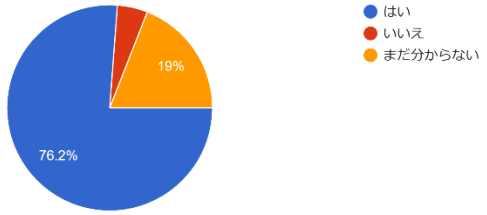
お申込み
お問合せ

QRコードを読み取りのうえ、WEBフォームにてお申込みください
093-695-3077　iipc@ksrp.or.jp
【主催】公益財団法人北九州産業学術推進機構＜FAIS＞ (担当:松本、糸川)

本日のイベントに対する満足度を教えてください
21 件の回答



今後もこのような共創活動イベントに参加したいと感じますか？
21 件の回答



DX LAB KTQ 2024成果

主体的な5者を発掘
（うち3者は本事業きっかけ・既存団体への参加者も増）

北九州DXツアー/WS
参加者：166名（延べ）

共創セミナー
参加者:141名（延べ）

共創主体者の発掘・メンバーとの出会い → 共創活動の促進 → 共創事例の周知

＜その他定性的効果＞

- 北九州DXツアー参加時に紹介されたHACCP管理ツールを導入（門司区飲食店）
- ツアー訪問先の提供サービスを自社顧客に紹介する連携を調整中（小倉北区不動産業）
- ツアー参加をきっかけに作業内容を数値化し、効率改善タスクチームを立ち上げた（小倉北区サービス業）
- 他社の担当者を自社工場に招き、担当者同士の議論を行った（小倉北区広告業）
- イベント内で知り合った企業からIoT実践キットの紹介を受け次年度推進へ（八幡西区製造業）

DX LAB KTQ

2025年度の活動

DX LAB KTQ

北九州DXツアー実施中

株式会社桃源舎

FRESH BREAD & CAKE CROWN SINCE 1948

BEETLE ENVIRONMENT MANAGEMENT SYSTEM

PRINTING SIGN DISPLAY
グランド印刷株式会社

地域DX共創事業 【DX LAB KTQ】

-ともに進める地域DXプログラム-

HAGUKUMI

支援内容紹介

3軸で共創活動をサポートします

資金支援

- 最大30万円までの活動資金サポート

人的支援

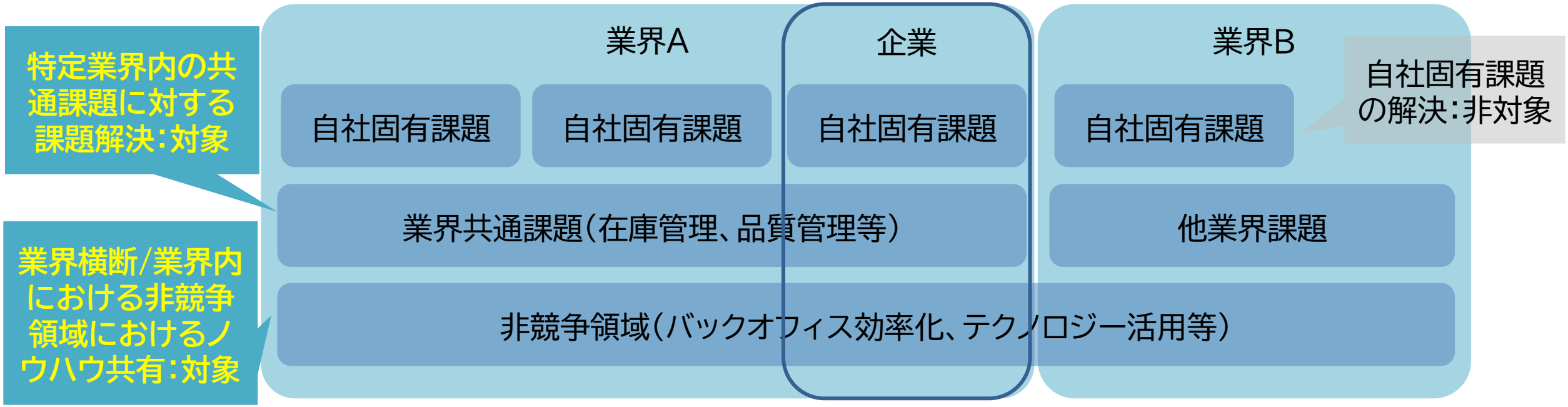
- 担当スタッフによる課題整理支援、専門家紹介、他団体との接続など
（担当スタッフが団体の事務局業務を担うわけではありません）

広報支援

- インタビュー記事作成および特設ページへの掲載、登壇機会の提供など

対象活動（概要）

北九州地域を主な活動実施場所として、デジタル化・DXに向け他者との連携により共創を進める活動。



想定する活動テーマ（例）

- 中小企業におけるノーコードツール活用研究会
- バックオフィスクラウドサービス研究会
- 中小企業に求められるDX人材に関する研究会
- サプライチェーン全体のデジタル化研究会
- 業界別DX研究会（製造、介護、物流等）　　など

活動種別について

活動種別	対象活動	助成額	助成率
DX共創準備枠	特定の共創テーマのもとに、これから共創相手（構成員）を見つけ、活動を拡げていく活動 【例】特定業界におけるデジタル化・DX浸透に向けた共同勉強会や講師を招聘した構成員向けセミナーの企画、運営など ※実践枠に記載した活動例を構成員の拡充後に実施する事も可能ですが、構成員が拡充できず活動が拡がらない場合は計画変更が必要となります。	20万円	1/1
DX共創実践枠	特定の共創テーマのもとに、構成員同士の間で共創を実践していく活動 【例】構成員相互の事業所（工場等）の見学会の実施、構成員内での共通課題解決に向けたワークショップの開催など ※更なる構成員の拡充に向けて、準備枠の例に記載した活動等の実施も可とします。	30万円	

※ 親睦や交流のみを目的とした活動等は対象となりません。
※ **対象事業については相談に応じますので事前に事務局へお問合せください。**

検討中テーマに興味のある、
北九州DXツアー参加者紹介や
北九州市DX推進PF上での
呼び掛けなどのサポートを想定

対象団体

- これから団体を新設する、または設立済の団体で、プログラム終了後も継続して活動を行う見込のある団体で以下の要件を満たすもの。
  ① 代表構成員は北九州市内に事業所（本社、支店、営業所、工場等）を有する法人
  ② 団体構成員は、3者（法人）以上であり、企画・運営に携わる構成員が3者以上であること。ただし、DX共創準備枠の場合はこの限りではない（3者未満での応募も可とする）。
  ③ 代表構成員が北九州市DX推進プラットフォームに登録済であること。活動会員（活動を幹事として行う団体構成員）に市外法人が含まれる場合は当該者も登録済であること。
  ④ 団体規約等を定めていること。
  ⑤ 活動計画があり、経費管理を適正に行うことが出来ること。また、活動の記録と成果報告が適切にできること（助成金は、代表構成員の銀行口座に入金します）。
  ⑥ 宗教活動や政治活動を目的とした団体でないこと。
  ⑦ 暴力団、暴力団員及び暴力団密接関係者のいずれにも該当しないこと。
  ⑧ 団体としての活動に対し、今年度、国・自治体等（外郭団体、その他の団体等）から助成や委託を受けていないこと。

資金支援対象経費

- 対象活動にかかる支出額から、対象事業にかかる収入額（事業を実施することにより得られる収入）を控除した額が、対象経費となります。
- また、助成金額に対して、備品費の占める割合は50％以内とします。5万円を超える備品購入時は応募時に見積書提出が必要です。

費　目	説　明
報償費	・講師への謝礼金（品）の費用 ※所得税法、関係法令を遵守すること（必要に応じて、領収書等の発行有無の確認を行う場合があります） ※団体構成員への支払いは対象外。また、構成員のグループ企業・団体に所属する講師への謝金は精算時原価証明を提出いただきます ※謝礼額は最大1時間8，000円まで（北九州市講師謝礼基準による）
旅費・交通費	・講師への旅費、交通費、宿泊費 ※最も安価になる方法で算出、北九州市旅費条例及び北九州市旅費条例施行規則に準じる ・団体から研修参加する場合の旅費は、原則1名分のみ可
保険料	・イベント保険料 ・その他保険加入費用がある場合は内容等を詳しく記入
需用費	【消耗品費】 ・活動に必要な文具や日用品など 【備品購入費】 ・活動に必要な備品（センサー、設備など）の購入 ※助成金額に対し、備品の総額は50％以内 ※単価が5万円を超えるものは、申請時に見積書の提出必要 【印刷製本費】 ・チラシ作成、広報宣伝物の印刷費など 【その他】 ・団体から研修参加する場合の資料代は1名分のみ可
通信運搬費	・イベント／セミナー開催や展示会への共同出展時等で運搬にかかる費用やモバイルルーター利用代金 ・共同実証などを実施する際のセンサー通信費
使用料・賃借料	・会議室等使用料、駐車場代、借上げバス費用など ※会議室使用料については、同規模の公共施設の利用料を助成の限度とする ※財団が管理する会議室を無料、あるいは減免利用できる場合がありますので、ご相談ください
負担金	・活動に必要な研修や講習会等への参加費 ※別途資料代が必要な場合、資料代は需用費に計上

※ 対象期間外の支出や食糧費・労務費等は助成対象外となります

活動に係る支出金額から、活動に係る収入（イベントに対する外部からの参加費および団体活動に対する寄付）と自主財源でまかなう費用を除いた金額が対象となります。

助成額＝支出金額－収入－自主財源

※最大額は活動種別による

詳細は募集要領をご覧ください

審査基準・採択予定数

【審査基準】

① 有意性：デジタル化・DXに向けた活動として意義があるか

⇔デジタル化・DXに関連しない活動は不可

② 共創性：自社固有の課題解決に留まらず他者との共創で取り組む意義があるか

⇔自社単独の課題解決や利益に結び付く活動は不可

③ 自走性：助成制度のみに頼らず今後自走する可能性があるか

⇔助成制度が無くなった時点で終了が見込まれる活動は不可

【採択件数（予定）】

- 10件程度 ※満たない場合は夏ごろ追加募集（見込）

提出書類

① 応募申請書【様式第1号】
② 活動実施計画書【様式第1－2号】
③ 団体名簿【様式1－3号】
④ 助成金明細書【様式第2号】
⑤ その他、各事業の様式第1号に記載の添付書類
- ✓ 団体の規約（任意様式）

※上記とは別に、交付決定後の概算払請求時までに市税滞納がない証明
および暴力団排除照会に関する同意書を提出いただきます

【その他要件等】
代表構成員と、活動会員（活動を幹事として行う団体構成員）に市外法人が含まれる場合は応募前に北九州市DX推進プラットフォーム（※）への会員登録を行ってください。
※DXを推進したい北九州市内の企業と、DXの推進をサポートする企業をつなぐために、北九州市が創設したプラットフォームです。（登録、年会費無料）：右QRコードより操作手順書へアクセス可能です⇒

Q&A

- 自社はIT企業ですが応募は可能ですか？
  - 自社の製品紹介にとどまらず、広く地域内のデジタル化・DX推進に資する取り組みや、IT企業自体のDX（ビジネスモデルの変革）を推進する取り組みであれば応募可能です。
- 自社は今後、北九州市内に事業所（本社、支店、営業所、工場等）を設置予定なのですが応募可能ですか？
  - 活動終了後までに事業所を設置することを条件に応募可能です（誓約書をご提出いただきます）。
- 個人（個人事業主を含む）でも応募可能ですか？
  - 本プログラムは法人同士の連携を促進することを目的としておりますので、個人のみでの応募は不可です。代表構成員が法人かつ3法人以上（実践枠の場合）で構成される団体に個人が参加することで活動に加わることは可能です。
- 取り組みたいテーマは明確なのですが、共に活動してくれる相手が見当たりません。
  - 事務局へご相談いただくほか、北九州市DX推進プラットフォームを活用してマッチングを進めることも可能です。どうしても相手が見つからない場合は、共創相手を見つけることを活動の一環として含めた計画を策定し、DX共創準備枠へ応募してください。
- 他団体とテーマの重複が懸念されます。
  - 活動計画を審査のうえ、同一テーマであっても複数団体を採択することも想定しています。応募前に同一テーマで活動を予定している団体の有無を確認したい場合は事務局までご連絡ください。
- 団体規約にはどの様な内容が含まれている必要がありますか？また、様式は有りますか？
  - 団体の名称、団体の目的、団体の活動内容、役員の選出方法、構成員の役割、会計の取り扱いについて記載してください。設立予定の場合は応募段階では案で提出し、交付決定時までに確定させてください。様式は任意です。
- 採択事業の事務局をFAISが担うのでしょうか？
  - 本プログラムの趣旨は、共創活動へ主体的に取り組む方をサポートすることですので、事務局自体をFAISが担う事は致しません。ただし、ご要望に応じて、団体会合への出席やアドバイス、関係者のご紹介、FAISが保有する場の活用などのサポートを行います。
- 賃借料の説明に記載の「財団が管理する会議室を無料、あるいは減免利用できる場合」とはどのような場合ですか？
  - 北九州市ロボット・DXセンター（学研都市ひびきのに所在）の展示スペースはスケジュール調整のうえ無料でご利用いただきます。
    九州ヒューマンメディア創造センター（八幡東区東田に所在）の会議室・ホールは後援申請をいただいたうえで減免（半額）可能です。

応募・お問合せ先

（公財）北九州産業学術推進機構
ロボット・DX推進センター DX推進部
担当：松本、糸川
E-Mail: dxlab-ktq@ksrp.or.jp

※メールでの応募・お問合せをお願いいたします。
（ご相談に際しては別途Webミーティング等で承ります）